

日本創成会議は6月4日、東京圏の高齢化危機回避戦略に関する提言を行った。その骨子は、①医療介護サービスの「人材依存度」を引き下げる構造改革（ICT、ロボットの活用など）、②地域医療介護体制の整備と高齢者の集住化の一体的促進とともに、③1都3県（+5政令指定都市）の連携・広域対応（国も積極的に支援）、④東京圏の高齢者の地方移住環境の整備（日本版CCRC構想の推進）である。とくに④は、具体的な移住先のお薦め都市としての41都市（2次医療圏）名とともにマスコミに大きく取り上げられた。

東京圏への人口集中と高齢者数の急増がもたらす問題は以前から当社が指摘してきた通りであり、このままでは、団塊世代が後期高齢者入りする2025年には1都3県の医療・介護供給能力がパンクするのは間違いない。ちなみに、「安心して暮らせるちばの再構築～ちばの医療・介護の将来に向けて」（千葉経済センター、2013年）においても、次の3点の必要性を提言し、3においては、元気あふれるシルバータウンの推進例として、亀田総合病院と旭中央病院を各々中核とした鴨川市の取組や旭市の構想にも言及した。

1. 高齢社会に対応する医療・介護に関する長期ビジョンの策定とその共有化
2. 長期ビジョンを前提とした医療・介護サービスの充実に向けた体制づくり
（①人材確保・定着、②地域連携の促進、③健康維持のための仕組みづくり）
3. 千葉県の特性を生かした、健康を中核に据えたまちづくりの推進

今回の日本創成会議レポートは、人口集中地域の高齢化問題を指摘している点で当社の問題意識と共通しているが、千葉県を一括りにして高齢者の「出し手」としている点で、県内のうち南房・外房を高齢者の「受け皿」候補とする当社の提言と異なった側面がある。

ここで、利用者の観点からみて、推奨された41の地方都市が果たして首都圏民にとって移住しやすい場所であるのか検証してみたい。

創成会議の提言で、まず気になるのは、今回の推奨地はすべて「現時点で医療・介護体制が整っている」という条件だけで選定されたもので、将来の体制の変化なども織り込んだ、それ以外の観点からの「利用者目線に立った」検証が抜け落ちていることである。

別表は、推奨41医療圏における代表的な都市の気象条件や東京からの時間距離を纏めたもの。これをみると、まず東京駅から公的交通機関を利用した所要時間は、最長の松江市で5時間程度、最短の富山市でも2時間を超える。本人のほか、家族や友人などが往復する際の費用（交通費・宿泊費等）も馬鹿にならない（これに対して千葉県内の2次医療圏には、全て2時間以内に行ける）。高齢者が遠方に移住するのは、国の「地域包括ケア」の考え方に必ずしも合致していないと思われる。行政が進めている地域包括ケアシステムでは、高齢者が「住み慣れた」地域で、地域ごとに医療・介護・予防などを受けることが求められているからだ。

次に気象条件だ。41都市のうち冬季（12～2月）の平均気温が4℃を割る都市が15か所ある（これに対して、県内で4℃を下回る医療圏はない）。そのうち9都市は氷点下だ。また、冬の日照時間が1日当たり約5時間（冬季合計450時間）を割り込む都市も36都市存在する

(県内には皆無)。うち、1日平均2.5時間(同225時間)を下回る都市は日本側を中心に5都市だ。このほか、レポートでは介護の供給力を「ベッド数」のみで計算しており、本当にベッド数に応じた医療・介護職が集まるか(供給マンパワーが足りるか)どうかという点も気になる。足許は、施設は整っていても人手が足りないため実質一部休床になっている施設が地方には存在する。

つまるところ、東京からの時間距離や気象条件を勘案すると、高齢者の終の棲家として、日照時間が長く気候が温暖で、海の幸山の幸が豊富で美味しく都心からも近い千葉県が如何に恵まれているかが良くわかる。実際に、2005から10年にかけての1都3県内の75歳以上の人口移動状況を見ると、東京都が5年間で△1.5万人の流出超過になっているのに対して、千葉県は東京都から3千人を、東京以外からは4千人を受け入れ、既に都内の高齢者等から選ばれる行き先になっている。高齢者が人口集中地域から非集中地域へと向かう動きは県内でも観察されていて、葛南地区では同時期の人口が転出超になる一方で、郡部の長生・山武や安房・夷隅地区では高齢者を中心に転入超となっている。

千葉県が引続き高齢者から選ばれ続けるのには、もちろん課題もある。1つ目の課題は県内の医療・介護の供給体制がこのままでは不十分なことだ。日本創成会議のレポートで指摘されている通り、千葉県9医療圏における介護ベッド数は、安房・千葉・君津の3医療圏を除き既に不足超であり(別表参照)、このままいけば2040年には、安房を除く8つの医療圏でさらに不足する可能性が高い(東葛南部と市原では需要の半分も満たせない)。千葉県はできるだけ早く需要に負けない供給力を身に着ける必要がある。

2つ目は、高齢者が移住する場合の受入市町村が、千葉県内であっても県外であっても、扶助費等の増加を恐れて、必ずしも受入に積極的でないことである。株式会社千葉銀行が県内自治体向けに本年2月に行ったアンケート調査結果によると、「高齢者流入によって社会保障費の増大が懸念される」と答えた市町村は全体の9割に達し、「定住人口が増加し消費拡大に繋がる」と答えた割合(肯定・否定ともほぼ1/4)を大きく上回った。そうした事態を回避するためには、住所地特例制度(介護保険等の制度において、被保険者が転居した自治体にある施設に入所した場合、引続き前居住地の被保険者とする制度)の完全な運用が求められる。この面で、杉並区が南伊豆町に整備する特別養護老人ホームをめぐり、本年3月に施設概要や役割分担などを盛り込んだ覚書を自治体間で結んだことは今後の参考となろう。

繰り返しになるかもしれないが、2013年に千葉県経済同友会が取り纏めた提言「千葉県の30年後の将来像」にある通り、千葉県、そのうちでも特に南房・外房地域は、温暖な気候と豊かな自然を有して住みやすく、圏央道や東京湾アクアラインを使って簡単に都心に出かけられる強みを持ち、シニアが住みたいと思う「シルバータウン構想(日本版CCRC)」を展開していくポテンシャルを持つ最有力候補の一つだと思う。千葉県としては上記課題の克服も含めて、高齢者に選んで貰えるように引続き努力していく必要があるが、他県でも同様の努力が行われ、都市間の競合が増す可能性がある。そうした環境整備が徐々に進むなかで、「個々の高齢者が家族・交友関係・収入などの状況に応じ、また目指すライフスタイルなどを考慮しつつ、自らの意思で自由に終の棲家を選択できることが何よりも重要だ」ということを最後に強調したい(久山)。

別添資料

(41 医療圏・千葉県内医療圏の気象条件と都心からの時間距離)

	二次医療圏の主な都市等		2015年介護ベッド準備率	2040年介護ベッド準備率	介護ベッド準備レベル	気温(°C) (1981~2010)30年間平均	日照時間(時間) (1981~2010)30年間平均	雪日数(年間)	気温(°C) (12~2月平均) 1981~2010(30年間)平均	日照時間(時間) (12~2月平均) 1981~2010(30年間)平均	東京圏(東京駅)からの所要時間	主となる利用交通機関	
	都道府県名	市名											年間平均気温 14.7°C未満
主な都市等 (33地域)	1	北海道	室蘭市	12%	12%	6	8.6	1725.2	114.3	-1.1	286.8	4時間27分	飛行機
	2	"	函館市	16%	10%	5	9.1	1748.0	109.2	-1.6	316.9	3時間3分	飛行機
	3	"	旭川市	6%	-17%	4	6.9	1590.9	142.2	-6.1	240.2	3時間20分	飛行機
	4	"	帯広市	12%	-18%	4	6.8	2033.2	76.8	-5.8	545.0	3時間24分	飛行機
	5	"	釧路市	-2%	-20%	4	6.2	1969.5	70.0	-4.0	537.6	3時間41分	飛行機
	6	青森県	青森市	-3%	-27%	4	10.4	1602.7	108.6	-0.2	174.3	3時間30分	JR新幹線
	7	"	弘前市	7%	-4%	5	10.2	1597.5	—	-0.7	193.2	3時間50分	JR新幹線
	8	秋田県	秋田市	3%	-25%	4	11.7	1526.0	98.9	1.2	147.6	2時間53分	飛行機
	9	山形県	山形市	-9%	-29%	4	11.7	1613.3	90.6	0.7	263.7	2時間44分	JR新幹線
	10	新潟県	上越市	12%	5%	5	13.6	1591.7	—	3.3	225.6	2時間44分	JR新幹線
	11	富山県	富山市	7%	-16%	4	14.1	1612.1	56.0	3.7	229.5	2時間8分	JR新幹線
	12	"	高岡市	3%	-12%	4	13.4	1534.7	—	3.0	217.9	2時間41分	JR新幹線
	13	福井県	福井市	8%	-21%	4	14.5	1619.4	52.5	4.1	225.4	3時間26分	JR新幹線
	14	京都府	福知山市	-15%	-17%	4	19.9	1475.5	—	3.9	257.4	3時間56分	JR新幹線
	15	和歌山県	和歌山市	-11%	-27%	4	16.7	2088.8	13.9	6.9	418.2	3時間41分	JR新幹線
	16	岡山県	岡山市	14%	-10%	5	16.2	2030.7	15.4	5.9	449.8	3時間13分	飛行機
	17	鳥取県	鳥取市	5%	-17%	4	14.9	1663.2	44.7	5.0	238.5	2時間47分	飛行機
	18	"	米子市	20%	8%	5	15.0	1732.3	—	5.4	246.9	4時間52分	飛行機
	19	島根県	松江市	0%	-21%	4	14.9	1696.2	39.6	5.3	235.6	5時間14分	飛行機
	20	山口県	宇部市	-7%	-20%	4	16.1	1880.5	—	6.9	319.5	4時間53分	飛行機
	21	香川県	高松市	6%	-27%	4	16.3	2053.9	14.3	6.4	432.0	3時間15分	飛行機
	22	"	坂出市	7%	-7%	5	16.2	2104.5	8.4	6.8	430.0	3時間27分	飛行機
	23	"	三豊市	8%	5%	5	15.1	1829.9	—	5.2	334.5	4時間17分	飛行機
	24	徳島県	徳島市	10%	-15%	4	16.6	2092.9	13.4	7.0	471.5	2時間46分	飛行機
	25	愛媛県	新居浜市	1%	-13%	4	16.5	1893.7	—	7.0	387.9	4時間40分	飛行機
	26	"	松山市	21%	-8%	5	16.5	2017.1	12.9	6.9	399.6	3時間15分	飛行機
	27	高知県	高知市	11%	-4%	5	17.0	2154.2	6.4	7.4	554.4	3時間32分	飛行機
	28	福岡県	北九州市	2%	-22%	4	16.2	1825.1	—	6.8	321.0	3時間35分	飛行機
	29	"	大牟田市	7%	5%	5	16.3	2103.4	—	6.5	431.8	4時間24分	飛行機
	30	佐賀県	鳥栖市	28%	-3%	5	16.5	1969.0	15.3	6.5	405.1	3時間52分	飛行機
	31	大分県	別府市	13%	11%	6	16.4	2001.8	9.8	7.2	455.4	3時間39分	飛行機
	32	熊本県	八代市	-18%	-25%	4	16.8	1956.4	—	7.3	367.6	4時間47分	飛行機
	33	沖縄県	宮古島市	21%	-4%	5	23.6	1766.2	0.0	18.7	269.6	4時間57分	飛行機
準地域 (8地域)	34	北海道	北見市	-8%	-33%	3	6.1	1775.5	—	-7.1	358.5	3時間35分	飛行機
	35	岩手県	盛岡市	1%	-36%	3	10.2	1684.1	103.8	-0.7	346.7	2時間13分	JR新幹線
	36	石川県	金沢市	0%	-55%	3	14.6	1680.8	54.8	4.8	219.1	2時間28分	JR新幹線
	37	山口県	山口市	-14%	-44%	3	15.4	1894.8	—	5.3	372.3	4時間39分	飛行機
	38	"	下関市	-33%	-39%	3	16.7	1880.5	20.0	7.8	319.5	5時間3分	飛行機
	39	熊本県	熊本市	-5%	-55%	3	16.9	2001.6	12.5	6.8	419.8	4時間16分	飛行機
	40	長崎県	長崎市	-3%	-34%	3	17.2	1866.1	13.5	8.0	341.4	3時間51分	飛行機
	41	鹿児島県	鹿児島市	-8%	-55%	3	18.6	1935.6	5.5	9.6	418.1	4時間19分	飛行機
千葉県 (9地域)	42	千葉県	千葉市	3%	-57%	3	15.7	1903.7	—	6.7	523.6		
	43	"	船橋市	-31%	-113%	1	15.3	1951.2	—	5.8	523.4		
	44	"	松戸市	-4%	-66%	2	14.7	1784.3	—	6.7	523.6		
	45	"	成田市	-2%	-79%	2	14.8	1905.8	—	5.4	501.2		
	46	"	銚子市	-18%	-29%	4	15.4	1959.9	6.1	7.3	492.9		
	47	"	茂原市	-8%	-39%	3	15.3	1811.9	—	5.9	461.2		
	48	"	鴨川市	8%	9%	5	15.7	1944.1	—	6.9	478.6		
	49	"	木更津市	13%	-22%	4	15.4	1771.2	—	6.7	523.6		
	50	"	市原市	-37%	-115%	1	14.8	1760.1	—	5.1	478.2		

(注) 1. 出所: 気象庁

2. 東京圏からの所要時間は、各種時刻表を基に算出